

HFT-RS3A・HLT-RS3A バージョンアップユーティリティ取扱説明書

1. 始めに

本プログラムは HFT-RS3A、HLT-RS3A のファームウェアを書き換えるユーティリティです。バージョンアップには本プログラムのほかにバージョンアップファイルが必要です。なお、最新のバージョンアップファイルは弊社ホームページにて掲載していますので、必要に応じてダウンロードしてください。

2. 注意事項

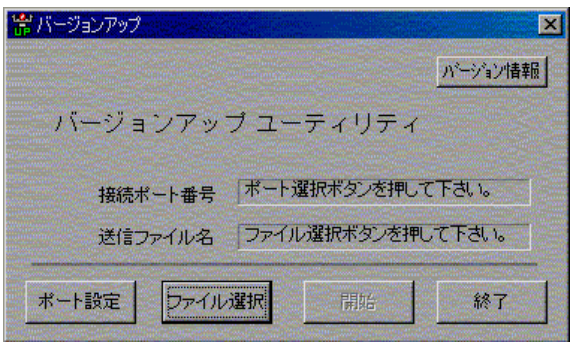
- 各製品バージョンアップファイルは製品ごとに専用となっています。他製品のバージョンアップファイルは使用しないで下さい。
- バージョンアップ中は本製品の電源を切ったり、RS-232C ケーブルを取り外したりしないでください。
- バージョンを下げることはやめてください。(動作しなくなる恐れがあります。)
- バージョンアップ作業の失敗における動作不良に関しては有償修理となりますので、慎重に作業を行ってください。

3. プログラムのインストール方法

本プログラムはセットアップの必要はありません。VersionUp.exe(自己解凍形式)をクリックし、適当なフォルダに解凍して下さい。

VersionUp.exe : バージョンアッププログラムです。

4. 画面の説明

ポート設定	パソコンのシリアルポートを指定します。	
ファイル選択	バージョンアップするファイルを選択します。	
開始	バージョンアップを開始します。	
終了	バージョンアップユーティリティを終了します。	

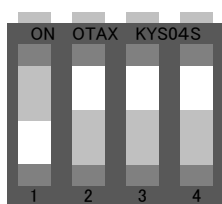
5. バージョンアップ方法

5-1. 本製品の RS-232C コネクタとパソコンを RS-232C ストレートケーブルで接続してください。

HFT-RS3A : “外部装置” と書かれたコネクタ

HLT-RS3A : “外部装置” と書かれたコネクタ

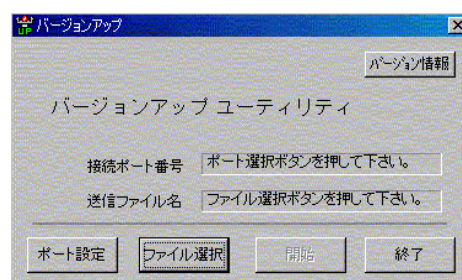
5-2. 本製品のディップスイッチを以下のように変更してください。



5-3. 本製品の電源を入れて下さい。本装置 LED が下表の様に点灯しますので、LED の表示を確認後、次に進んでください。



5-4. バージョンアップユーティリティを起動して下さい。



5-5. ポート設定をクリックしてください。ポート番号の選択画面が出ますので、RS232C ケーブルが接続されているポート (COM ポート) を選択してください。ポート番号を選択した後、“OK”をクリックしてください。

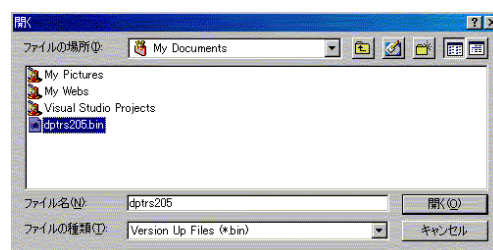


右のような画面が出た場合

- ・ 選択したポートが他のアプリケーションで使用されていませんか？
- ・ 選択したポートがパソコンにありますか？ ノートパソコンの場合は赤外線ポート、PCMCIA ポートも COM ポートに割り当てられる場合があります。



5-6. “ファイル選択”をクリックして下さい。ダイアログボックスが起動しますので、バージョンアップファイルを選択してください。右図例はバージョンアップファイルが”C : ¥My Documents”にある場合の例です。



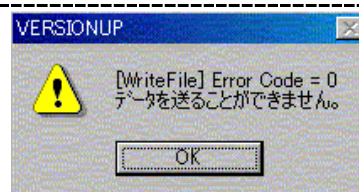
5-7. “開始”ボタンをクリックしてください。バージョンアップが開始されます。プログレスバーが表示され進行状況が表示されます。

5-8. 正常にバージョンアップが終了すると“完了しました。”というメッセージが表示されます。

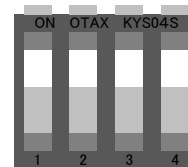


右のような画面が出た場合

- ・ 本製品の電源が入っていますか？
- ・ ケーブルは抜けていませんか？
- ・ ディップスイッチをもう一度確認してください。

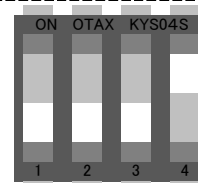


5-9. ファームプログラムが変更になりましたので、設定を工場出荷に戻します。ディップスイッチを右図のようにしてください。



5-10. 本装置の電源を入れてください。すると本製品の全ての LED が赤点灯し、しばらくすると全て消灯します。

5-11. 工場出荷時の設定に戻りましたので、ディップスイッチを右図のようにしてください。以上でバージョンアップ終了です。



連続でバージョンアップする場合

本製品ディップスイッチをバージョンアップモードに設定し、パソコンと接続し、バージョンアップユーティリティの”開始”ボタンをクリックしてください。このとき再度、ポート選択、ファイルの選択の作業は必要ありません。